

補助金調査・評価シート [制度的補助]

補助金名等			
補助金の名称	揚水機場動力費補助金	No.	56
予算事業名	小規模土地改良事業		
予算科目	款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 04 農地費
	節 19 負担金補助及び交付金	細々節 02 揚水機場動力費補助金	
部課名	まちづくり環境部産業振興課	電話番号	049-251-2711 内線 244

補助金の根拠			
根拠条例等	条例		
	規則	富士見市農林水産振興事業補助金等の交付手続等に関する規則	
	要綱	土地改良事業等補助金交付要綱	
	その他		
開始年度	年度	終期の設定	<input type="checkbox"/> 有(年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 無
補助金の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> イベント等補助
	<input type="checkbox"/> 投資的補助	<input type="checkbox"/> 扶助費の補助	

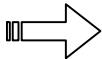
補助金の概要	
目的 (何を対象にどのような成果を得たいのか。)	土地改良区等が行う農業用水を揚水するために必要とされる揚水機場の動力費に対し補助を行うことにより、農業経営の安定化、或いは農業振興に寄与することを目的とする。
導入の経緯 (どうしてこの補助制度を導入しなければならなかったのか。)	主食である米の生産に必要な水は、必要なときに効率的かつ安定した確保が不可欠であることから、降雨によるものではなく、地下水や河川からの揚水がほとんどである。水稻生産農家の安定した収入を確保するため、昭和49年度から導入された。
対象資格 (対象資格はどのようなものか。)	農業用揚水の受益者により組織された、土地改良区、水利組合、揚水組合等が、農業用水を揚水するために必要とされる揚水機場の動力費にあてる場合。
交付内容等 (どのような基準で交付しているのか。また、交付時の確認資料はどのようなものか。)	補助金額…揚水機場動力費に係る費用の1/2以内の額 ※ 実績報告書と共に領収証の提出を要する。
積算基礎 (予算額をどのように積算しているのか。)	平成22年度予算額 3,000 千円
	過去の実績を基に積算。

補助割合等	
補助割合等の明示	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 定額) <input checked="" type="checkbox"/> 無 (「予算の範囲」のみの場合を含む。)
財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 国・県・市 <input type="checkbox"/> 国・市 <input type="checkbox"/> 県・市 割合 市 国 県 (分数表示)
上乗せ・横出し	<input type="checkbox"/> 国・県の基準よりも拡充して交付している <input type="checkbox"/> していない
上乗せ・横出しがある場合の内容と金額	

交付実績とコスト		(単位: 件・円)		
項目	平成20年度(決算)	平成21年度(決算見込)	平成22年度(予算)	
交付(見込)件数	10件	10件	10件	
交付(見込)件数の増減要因		-	-	
決算(予算)額(A)	3,100,000	3,000,000	3,000,000	
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	3,100,000	3,000,000	
概算人件費(B)	142,038	142,491	142,452	
概算補助事業費(A+B)	3,242,038	3,142,491	3,142,452	
実績報告の確認(実績報告書受理時の確認資料は、どのようなものか。)	実績報告の確認として、領収書の提出を求めている。			

事業環境等	
見直しの有無	<input type="checkbox"/> 有 (年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※ 5年以内の見直しに限ります。
有⇒見直し内容 無⇒見直さない理由	生産コストに見合った米価格ではない現状に加え、水稻生産農家の新たな負担増に繋がることから、補助内容の見直しを行わなかった。

廃止した場合の問題点 (廃止した場合の問題点や継続しなければならぬ理由など)	水稲農家に対する新たな負担増は、水稲生産に対する意欲を削ぐことになりかねない。
---	---

評価			
評価項目		判断理由	評価
必要性	社会経済情勢に合致し、行政の実施が望ましいか	主食であるにも関わらず、労働対価に見合っているとは言えない水稲生産農家に対する補助のため、制度の必要性は高いと考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> そうでもない
優先性	厳しい財政状況の中で優先的に実施すべきか	水稲生産農家の生産意欲を維持するため、今後とも維持するべきである。	<input checked="" type="checkbox"/> 優先すべき <input type="checkbox"/> 優先度が低い
有効性	目的に対して成果が出ているのか	揚水機場動力の電気代として有効、且つ計画的に利用されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 成果が出ている <input type="checkbox"/> あまり出ていない
継続性	現状のまま継続して、当初の導入目的を達成できるか	農業の振興を図るため、揚水機場動力の電気代として補助しているものであり、水稲生産農家の負担が軽減されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成できる <input type="checkbox"/> 達成できない
所属長評価	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上継続  <input type="checkbox"/> 重点化する（コストを集中的に投入したい） <input type="checkbox"/> 制度の変更（補助対象経費・補助率の変更） <input type="checkbox"/> 廃止（ 年度まで）		
	見直しの上継続を選択した場合には、その内容を記入してください。 その他問題点・課題等があれば、その内容を記入してください。		
	米価の下落や生産コストの上昇、更には後継者不足といった米農家の環境を取り巻く諸問題に対応し、国においてもいろいろな施策を展開している。兼業農家も増加しており、ほとんどが採算を度外視した農地の保全のために取り組んでいる状況にあるため、その意欲削ぐことが無いよう継続していきたい。		